

令和7年2月吉日

各位

専門リハビリテーション研究会
第23回研修会大会長 城 真介

専門リハビリテーション研究会 第23回研修会について(ご案内)

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、この度専門リハビリテーション研究会では、下記の通り第 23 回研修会を開催する運びとなりました。

専門リハビリテーション研究会は他職種の交流を深め、顔の見える関係性を創ることを大切に考え活動してきています。その中で研修を通じて専門職の知識や技術の向上にも力を入れており、今回の研修会を企画いたしました。

専門職として若手の先生から中堅の先生はもちろん、経験豊富な先生方にもご参加いただき、みんなで顔を合わせて話し合い、つながりを創るとともに、専門的な知識の研鑽となるようプログラムを組んでおります。

ぜひ職場の皆様とお誘いあわせの上ご参加いただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

【日 時】 令和7年3月16日(日) 10:00～16:30 (9:30 受付開始)

【場 所】 日本リハビリテーション専門学校(別館) TIME PLLAZA ISE

【定 員】 60名

【会 費】 5,000円

【プログラム】

10:00～受付開始

10:30～12:00 講義『介護予防から学ぶ～活動から得たちから～』

発表者:城 真介(医療法人光仁会 春日部厚生病院)

12:00～13:00 昼休憩

13:00～15:00 講義『「荷重時痛 動作時痛の正体を探る!」』※実技あり

発表者:渡邊 純(一般社団法人 SOL SOL 整形外科スポーツクリニック)

※研修会終了後に懇親会も予定しています。ぜひご参加いただき顔の見える関係性を創り、今後も情報交換等できるようになればと思っています。お誘いあわせの上ご参加ください。

【会場案内】 日本リハビリテーション専門学校(別館) TIME PLLAZA ISE

住所: 〒171-0033 東京都豊島区高田 3 丁目 18-2

●電車をご利用の場合 JR山手線「高田馬場駅早稲田口」より徒歩 5 分

【注意事項】 ・昼食時は会場内で飲食が可能です。

・ゴミは分別して会場内の所定の場所にお出してください。

・駐車場はございませんので、公共交通機関のご利用にご協力ください。

・お車でお越しの際は、各自で近隣の民間駐車場をご利用ください。

【申し込み】

下記 QR コードから申し込み 구글フォームにて申し込みをお願いします。

あるいは下段のリンクより申し込みをお願いします。

また、専門リハビリテーション研究会の公式ラインもあります。(右 QR コード) 研修会案内等発信していただきますので登録もお願いできればと思います。

【第 23 回研修会申し込み QR コード】

【専門リハ公式ライン QR コード】



[第 23 回専門リハ研修会申し込み - Google フォーム](#)

【締め切り】 **令和7年3月10日**までとさせていただきます

【振込先】

◆振込先 埼玉りそな銀行 せんげん台支店

店番号 : 339

預金種目: 普通預金

口座番号: 4534162

口座名義: 一般社団法人 多専会 (カタカナ表記 : シャ)タセンカイ)

※依頼人のご入力参加者のお名前をお願い致します

※振り込み**締め切りは3月13日(木)**とさせていただきます。

【問い合わせ先】 城 真介 (医療法人光仁会 春日部厚生病院)

E-mail : sjboy68@yahoo.co.jp

以上

講義①講演要約

ここ10年でリハビリテーション専門職の活躍の場も大きく広がってきている。これまでは医療や介護の診療報酬制度における現場が主な活躍場所であり、心体に障害がある者に対しリハビリテーションを提供してきた。昨今では高齢者の予防分野だけでなく、子供の発達(学校保健分野)やウイメンズヘルス、企業における産業保健分野など全世代にわたる分野に活躍の場は広がってきている。

現在私は春日部市を主として高齢者の介護予防事業に携わっているが、高齢者の介護予防事業に携わって気が付いたことがたくさんある。地域の活動に参加協力することの意義や楽しさを知っていただくとともに、私自身が訪問型サービスC事業に関わったことで、対話力の必要性を改めて痛感し、その結果病院での働き方で変化した点などもお伝えしたいと思う。

【講師略歴】

- ・藤リハビリテーション学院卒業
- ・春日部厚生病院リハビリテーション部に入職
現在理学療法科科长

【直近の主な活動】

- ・埼玉県地域リハビリテーションケアサポートセンター(東部圏域担当)における市町村支援等
- ・埼玉県理学療法士会における活動
職能局地域包括ケア推進部、業務推進部等
- ・日本理学療法士協会の卒後教育制度における介護予防・地域包括ケア推進リーダー研修講師
- ・2024年能登地震における災害派遣

講義②講演要約

「痛み」の訴えは、我々医療に携わるセラピストにとって、整形外科領域に関わらず全ての領域の現場において必ず遭遇する症状である。特に「動作によって起こる痛み」や歩行やランニング、階段などで起こる「荷重による痛み」における症状は耳にタコができるほど聞いていると思われる。この「痛み」の原因を探るために、医療現場では医師が局所を探り、リハ現場にいるセラピストが機能的要因を探るシステムが多いと思われる。局所に問題がなければ、必ずどこかに「痛み」を誘発してしまう要因が隠されているはずである。その要因は「地球上のルール」と「物理」、そしてヒトが有している「反射」に隠されている可能性が大きい。今回はこれらの要因に対する臨床思考を身につけると共に、即時的な効果が期待できる技術の一部を学び、翌日からの臨床に役立てられると確信する内容になっている。是非、耳を傾けていただきたい。

【講師略歴】

- ・宮崎リハビリテーション学院卒業
- ・医療法人紺整会 船橋整形外科病院
スポーツリハビリテーション科 科長
- ・医療法人社団 SEISEN 清泉クリニック整形外科
- ・一般社団法人 SOL SOL 整形外科スポーツ
クリニック 理事

現在に至る

【直近の主な活動】

- ・東京2020オリンピック
理学療法サービスコーディネーター
- ・東京2020オリンピック サーフィン
TEAM JAPAN ディカルトトレーナー